

研究区分	教員特別研究推進（教育推進）
------	----------------

研 究 テ ー マ	ポスト・コロナ時代におけるヨーロッパ地域研究と学習支援				
研究組織	代 表 者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	森 直香
	研究協力者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	剣持 久木
		所属・職名	国際関係学部・准教授	氏名	小谷 民菜
		所属・職名	国際関係学部・准教授	氏名	ファイファー、 マティアス
	発 表 者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	森 直香

講演題目
ポスト・コロナ時代におけるヨーロッパ地域研究と学習支援
研究の目的、成果及び今後の展望
研究の目的 本研究では、ポスト・コロナ時代に適応した新たな地域研究・学習モデルを創出することを目指す。学生には「海外留学をしたり、海外の人と直接交流しなければ日本以外の国のことを知ることができない」という思い込みが根強いが、映像を用いた研究・学習の機会の確保と、海外大学から招へいた講師による特別講義や日本国内におけるフィールドワーク活動の機会の創出により、留学によらないヨーロッパ地域へのかかわりの可能性を示す。これを通して、一見国内だけで完結しているように見える日々との生活がいかに海外と深く結びついているかを実感させる。さらに比較文化の視点を取り入れ、ヨーロッパを知ることを通して、自国をより深く理解させる。このような試みは、ポスト・コロナ時代における大学の研究・教育のあり方に資するものでもある。その一方で、国際交流室と連携を取りながら、協定大学への留学のプロモーションを積極的に行い、学生たちの留学への興味を高めていく。 成果 特別講義 - ベニート・ガルシア（スペイン・アリカンテ大学）「登場人物の身体を体感するースペインの移民文学『何も起こっていない』（ホセ・オベヘロ作）ー」（Sentir el cuerpo del personaje en la literatura sobre migraciones en España: la novela Nunca pasa nada, de José Ovejero）（特別講義）、2025 年 7 月 22 日、於・静岡県立大学国際関係学部。 - 稲田晴年（静岡県立大学名誉教授）「フランス式親ガチャ文学論ー精神分析学による人生占い」（特別講義）2025 年 7 月 23 日、於・静岡県立大学国際関係学部。 「剣持久木教授（国際関係学部）定年退職記念公開映画上映会」、第 1 部・映画上映会『悲しみと哀れみー占領下にあったとあるフランスの街の記録ー』、第 2 部・「公共史への道ー歴史書、映画、博物館ー」（最終講義）、2026 年 3 月 20 日、静岡県立大学小講堂。 論文 - 森直香「現代マンガに描かれる『ドン・キホーテ』しりあがり寿『徘徊老人ドン・キホーテ』」片倉充造・佐竹謙一編『「ドン・キホーテ」とともに』行路社、2025 年、pp.189-197。 - 森直香「日本におけるスペイン戯曲の受容ードン・フアンを中心に」『スペイン学』第 27 号、2025 年、pp. 41-56。